

開催日時	2006年3月29日（水）9：30～12：40
場 所	新・都ホテル 地下1階 末広の間
参加者数	委員16名、河川管理者49名

1. 検討の内容

①河川管理者からの説明（ダム等の管理に係るフォローアップについて）

河川管理者より配付資料「ダム等の管理に係るフォローアップについて」を用いて、河川管理者が作成するフォローアップ調査報告書への意見を述べる委員会を淀川水系流域委員会で兼務するとの説明がなされた。その後、委員との意見交換がなされた。主な意見は以下の通り（例示）。

- 琵琶湖開発事業もフォローアップの対象になっているが、具体的な対象は何か。
 - ←琵琶湖総合開発事業と琵琶湖開発事業がある。琵琶湖総合開発事業には大津放水路や草津放水路等の建設省以外の整備も含まれているが、フォローアップするのは琵琶湖開発事業。琵琶湖開発事業は治水・利水事業となっている。具体的な対象はもう少し先の話になると思うが、洗堰や瀬田川掘削等が含まれる（河川管理者）。
- 配付資料P7の水源地域動態調査の「水源地域市町村の人口動態等」とは何か。
 - ←調査の具体的な項目については全国的に決められたものがある。必要であれば配布する（河川管理者）。

②河川管理者からの説明と意見交換（河川整備計画基礎案に係る具体的な整備内容シートについて）

河川管理者より、配付資料「淀川水系河川整備計画基礎案に係る具体的な整備内容シート」の説明がなされた後、委員との意見交換がなされた。主な意見交換は以下の通り（例示）。

- それぞれの事業をいつまでに達成するのかがよくわからない。委員会は事業内容だけを評価するのか。事業の達成度についても意見を述べていくべきではないか。
 - ←目標が示せる事業については、事業毎に全体のスケジュールを示している。事業内容によって、粗いものと細かいものがあるため、過去の資料と比較して頂きたい。環境等、数値目標がはっきりしない事業のスケジュールをどう作ればよいか、アドバイスを頂きたい（河川管理者）。
- 必要なデータは取り寄せ、過去の資料とも比較しないといけない。今日の説明では分からなかった部分（例：利水撤退による丹生ダムと川上ダムの構造変更）や必要な現地視察箇所を委員会側から言っていないといけない（委員長）。
- 事業費が示されている事業と示されていない事業がある。進捗状況が「A」として実施が決まっている事業は、事業費が明記されているのか。
 - ←分かるものは記載しているが、例えば、調査検討については、ある費用で解決できるというものではなく、年度ごとに使った分を書いている（河川管理者）。
- 複数の検討会やWGが記載されているが、それぞれどこまで議論が進んでいてどんな結論が出たのか、半年に1回程度説明してもらえると助かる。
- 治水-1-4-1で説明されている「水害に強い地域づくり」は動いているのか。河川レンジャーとの関係は？
 - ←木津川では、協議会については検討中。河川レンジャーは準備会にて準備を進めている（河川管理者）。
 - ←琵琶湖湖南流域において、滋賀県と共同で協議会を設置し検討している。河川レンジャーはそれぞれの河川事務所で試行しており、事務所によって進度は違う。琵琶湖では平成18年4月から「河川レンジャーアドバイザー委員会」を設置し、河川レンジャーの育成、運営、支援について具体的な検討を進めていく（河川管理者）。

以上

※結果報告は主な決定事項等の会議結果を迅速にお知らせするために庶務から発信させていただくものです。